

第45回Next30産学フォーラムneo

日時:7月29日(月)

場所:ナゴヤ イノベーターズ ガレージ

参加者:35名

Next30産学フォーラムは、ナゴヤ イノベーターズ ガレージのオープンを機に「Next30産学フォーラムneo」と名称を改め、これまで以上に参加者の対流・交流を促し、新たな発見につながるプログラムを提供していく。

今回は、名古屋大学未来社会創造機構特任准教授の赤木康宏氏および愛知淑徳大学心理学部准教授の蒲谷慎介氏による講演とワークショップを行った。

赤木氏は、「自動運転車の設計を体験する」と題して、名古屋大学センター・オブ・イノベーションが取り組む、高齢化社会や人手不足を解消する手段としての自動運転車の必要性を紹介した。その後、参加者はグループに分かれ、パソコンで実際に自動運転車のプログラム作成に取り組んだ。



プログラム作成に熱中する参加者

蒲谷氏は、「心理学って何だろう？—日常・学業・仕事に活かす!—」と題して、心理学では、データから法則を発見し、それらを理解するための理論をつくることで「心と行動の法則」を導き出せるとし、日常生活や学業、仕事に活用できる身近な



「ナゴヤ イノベーターズ ガレージの活用方法」がアイデア抽出の題目として与えられた

例をあげて解説した。ワークショップでは、参加者が心理テストや効率的なアイデア抽出・評価行動を体験した。

(イノベーション推進部 美保 美恵)

第1回観光委員会

日時:7月30日(火)

場所:名古屋栄ビル

参加者:委員長の安藤副会長をはじめ48名

冒頭、安藤委員長は、昨年のインバウンドや中部国際空港の動向に触れながら、「中部の観光を支える重要な役割を担う中部国際空港のさらなる飛躍に向け、中部圏全体で応援していきたい」と述べるとともに、「外国人旅行者の日本での過ごし方が多様化してきている。これからは、地域の特性を生かした体験プログラムの造成をはじめ、地域にお金が落ちる仕組みづくりが重要」と挨拶した。



講演いただいたスタンコフ氏

続いて、日本最大規模の外国人旅行者向けアクティビティ予約・販売サイトの運営、体験型コンテンツのプロデュース事業を展開する(株) Voyagin^{ボヤジン}より、コンテンツプロデュー

サーのアレクサンダー・スタンコフ氏を迎え、講演会を行った。

スタンコフ氏は、個人旅行者の増加に伴う体験型ツアーの重要性と観光地域づくりについて、地域での体験型ツアーの成功事例や観光動向をあげながら、「インバウンドを呼び込むにあたっては、事業者が熱意を持ちつつ、長期的に持続可能な観光地域づくりを目指していかなければならない。急激な観光客増加によるオーバーツーリズムの解決策としてもこの視点が重要となる」と述べた。

(企画部 山田 起士)